

# R31-2186 Part A

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠  
改訂日: 2020年3月23日

発行日: 2020年3月23日

avantor™

NuSil™

バージョン: 1.0

## セクション 1: 化学物質等および会社情報

### 製品特定名

製品形態	混合物
製品名	R31-2186 Part A
別名	シリコーン接着剤

### 該当純物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質／混合物の用途	シリコーン同士およびシリコーンと基質を結合およびシールするための接着剤。業務用のみ。
-----------	--

### 安全データシートの作成者に関する詳細

#### 顧客

NuSil Technology LLC  
1050 Cindy Lane  
Carpinteria, California 93013  
USA  
(805) 684-8780  
[ehs@nusil.com](mailto:ehs@nusil.com)  
[www.nusil.com](http://www.nusil.com)

### 緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号	800-424-9300 CHEMTREC (米国内)、+1 703-527-3887 CHEMTREC (国際および海上) +(81)-345209637
-----------	---

## セクション 2: 危険有害性情報

### 物質または混合物の分類

GHS-JP 分類 未分類

ラベル要素 ラベル適用外

その他の危険有害性 データなし

## セクション 3: 組成／成分情報

日本の危険有害性情報の伝達方法の基準である安全データシート (SDS) の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じ、本製品の成分は開示する義務はない。

## セクション 4: 応急措置

### 応急措置の説明

#### 一般的な応急措置

意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける (可能な場合はラベルを提示する)。

#### 吸入した場合の応急措置

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸困難が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

#### 皮膚に付着した場合の応急措置

汚染された衣類を脱ぐ。多量の水と石鹸で優しく洗う。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

# R31-2186 Part A

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

### 眼に入った場合の応急措置

水で数分間、注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。痛み、瞬き、または発赤が続く場合には、医師の診断、手当てを受けること。

### 飲み込んだ場合の応急措置

口をすすぐ。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

### 応急処置をする者の保護と対策

すべての不必要な暴露を避けること。

## 急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

### 症状／影響

通常の使用において予測される条件下では、重大な危険有害事象の発生は見込まれない。

### 吸入した場合の症状／影響

呼吸器への刺激のおそれがある。

### 皮膚への接触後の症状／影響

長期間の接触により、軽度の刺激を引き起こすおそれがある。

### 眼に入った後の症状／影響

軽度の刺激を起こすおそれがある。

### 飲み込んだ場合の症状／影響

大量に飲み込んだ場合：胃腸の炎症。

### 慢性症状

通常の使用条件下では予想されない。

## 即時の医療措置および特別な治療の適応となる症状

気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。

## セクション 5: 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

周囲の火災に適した消火剤を使用すること。

#### 不適切な消火剤

強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。

## 物質または混合物に由来する特別な危険有害性

### 火災危険性

可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。

### 爆発危険性

本製品は爆発性はない。

### 反応性

通常の下条件下では有害な反応は発生しない。

## 消火時の注意事項

### 火災に関する予防措置

化学物質による火災の消火は慎重に行う。

### 消火時の指示

露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。大火災および大量の場合：退避する。爆発の危険があるので、十分に距離をとった位置から消火を行う。

### 消火時の防護

呼吸用保護具を含む適切な防護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。

### 有害燃焼生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。ケイ素酸化物。ホルムアルデヒド。

### その他の情報

温度が 150°C (300°F) を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。

## セクション 6: 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

### 一般的な措置

すべての不必要な暴露を避けること。

### 二次災害の防止策

当該領域の換気を行う。

## 緊急救援隊以外の人員

### 防護具

適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

### 緊急措置

不必要な人員を退避させる。

# R31-2186 Part A

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

### 緊急対応にあたる人員

防護具

緊急措置

浄化担当スタッフには適切な防護具を装着させる。  
当該領域の換気を行う。安全な場合は漏出を停止する。

### 環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。液体が下水や公共用水に流入した場合は監督官庁に通知する。

### 封じ込めおよび浄化の方法・機材

封じ込め

漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や河川への流入を防止する。

浄化方法

不活性物質を用いて漏出した物質の吸収および／または封じ込めを行い、適切な容器に入れる。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。可燃性の物質（おがくずまたはセルロース系の物質）で吸収してはならない。

### 他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」を参照のこと。詳しくは、セクション 13 を参照のこと。

## セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

### 安全な取扱いに関する注意事項

加工時の追加的有害危険性

衛生対策

標準的な工業規範に従って取り扱い、適切な使用法を守る。

労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

### 安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策

高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。

保管条件

乾燥した、涼しくて換気の良い場所に密閉して保管すること。極端な高温または低温、直射日光や発火源になるもの、混触危険物質を避けて保管すること。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

### 特定の最終用途

シリコン同士およびシリコンと基質を結合およびシールするための接着剤。業務用のみ。

## セクション 8: 暴露防止および保護措置

制御パラメータ データなし

生物学的限界 データなし

### 暴露防止

適切な工学的管理

暴露の危険性のある区域のすぐ近くに、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。適切な全体および局所換気を実施する。手袋。防護ゴーグル。保護衣。換気が不十分な場合: 呼吸用保護具を着用。

個人用保護具



保護衣の素材

耐化学物質性の素材および繊維。

手の保護

耐化学物質性の保護手袋を着用する。

眼および顔面の保護

化学物質用のゴーグルまたは安全眼鏡。

# R31-2186 Part A

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

皮膚および身体の保護  
呼吸器系の保護  
  
熱危険性の防護  
その他の情報

適切な保護衣を着用する。  
換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、  
認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。  
データなし  
本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

## セクション 9: 物理的および化学的特性

### 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
蒸発速度	データなし
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	135°C (275.00°F) 超
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度(20°C)	データなし
相対密度	1 超(水= 1)
溶解度	不溶解性。
分配係数: N-オクタノール/水	データなし
粘性	データなし
爆発限界	データなし

### その他の情報

揮発性有機化合物含量 1%未満

## セクション 10: 安定性および反応性

### 反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

### 化学的安定性

標準的溫度および圧力下では安定状態。

### 有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

### 避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質。

### 混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

# R31-2186 Part A

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

### 危険有害な分解生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。ケイ素酸化物。温度が 150°C(300°F)を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。ホルムアルデヒドは発がん性を持つ物質であり、皮膚および呼吸器官系に対して感作物質として作用する場合がある。ホルムアルデヒドはまた、呼吸器および眼への刺激を引き起こす場合がある。

## セクション 11: 有害性情報

### 毒性影響に関する情報

急性毒性(経口)	未分類。
急性毒性(経皮)	未分類。
急性毒性(吸入)	未分類。
皮膚腐食性/刺激性	未分類。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	未分類。
呼吸器官系または皮膚感作性	未分類。
生殖細胞変異原性	未分類。
発癌性	未分類。
生殖毒性	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 単回ばく露	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 反復ばく露	未分類。
吸引性呼吸器有害性	未分類。
その他の情報	未分類。

## セクション 12: 環境影響情報

### 毒性

水生環境有害性、短期(急性)	未分類。
水生環境有害性、長期(慢性)	未分類。

### 残留性および分解性

R31-2186 Part A	
残留性および分解性	立証されていない。

### 生物蓄積性の可能性

R31-2186 Part A	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

### 土壌中の移動性 データなし

### その他の有害な影響

オゾン層に有害	未分類。
その他の情報	環境への放出を避けること。

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

地域の法律(廃棄物)	正式な規制に従い廃棄しなければならない。
下水への廃棄に関する勧告	下水へ廃棄物を流さない。排水設備に流さないこと、本物質および容器は安全な方法で廃棄すること。

# R31-2186 Part A

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

### セクション 14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDS の認可時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDS が発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

**UNRTDG 準拠** 輸送に関する規制なし

**IATA 準拠** 輸送に関する規制なし

**IMDG/IMO 準拠** 輸送に関する規制なし

**その他の情報** 入手できるデータはない

### セクション 15: 適用法令

#### 適用法令

この混合物中のすべての成分は、日本の ENCS (既存および新規化学物質) の目録に記載されており、ISHL (労働安全衛生法) は適用から除外されているか、関連規則による CBI 要件または開示規則に従い開示されていない。

### セクション 16: その他の情報

作成日または最新改訂日

2020 年 3 月 23 日

参考文献

本書は日本の危険有害性情報の伝達方法の基準である安全データシート (SDS) の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じて作成された。

日本 GHS SDS

本安全データシート (SDS) の情報は、本 SDS 記載の日付時点での正確なデータに基づいて作成されたものである。法の許容する最大限の範囲で、NUSIL TECHNOLOGY LLC およびその関連会社 (“NUSIL”) は、本書記載の正確さ、完全性、目的または使用の適宜性、商品性、不侵害、性能、安全性、適合性、および安定性を含む情報に関する表現および保証に関して責任は、全面的に制限なく負わないものとする。本 SDS は、適切に訓練されたスタッフによる関連製品の適正使用、取扱い、保管、および処分に関するガイドとなることを目的としているが、すべてを網羅したものではない。NuSil 製品のユーザーは、ユーザー自身の目的と使用内容に応じて、各製品および製品の組み合わせの安全性、適合性、適正使用、取扱い、保管、および処分を決定するにあたり、ユーザー独自の試験を実施し、ユーザー自身で判断を下すことを推奨する。法の許容する最大限の範囲で NUSIL は、いかなる条件においても、利益の損失、風評被害、製品の回収または業務の中断を含む特殊、間接、偶発的、懲罰的または派生的被害の種類を問わず、それらの責任を負わないものとし、NUSIL の製品を購入したユーザーは、そのことに同意するものとする。

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

発行日: 2020年3月24日

avantor™

NuSil™

バージョン: 1.0

## セクション 1: 化学物質等および会社情報

### 製品特定名

製品形態 混合物  
製品名 R31-2186 Part B  
別名 シリコーン接着剤

### 該当純物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質／混合物の用途 業務用のみ。

### 安全データシートの作成者に関する詳細

#### 顧客

NuSil Technology LLC  
1050 Cindy Lane  
Carpinteria, California 93013  
USA  
(805) 684-8780  
[ehs@nusil.com](mailto:ehs@nusil.com)  
[www.nusil.com](http://www.nusil.com)

### 緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号 800-424-9300 CHEMTREC (米国内)、+1 703-527-3887 CHEMTREC (国際および海上)  
+(81)-345209637

## セクション 2: 危険有害性情報

### 物質または混合物の分類

#### GHS-JP 分類

物理的危険性 未分類。  
健康に対する危険有害性 皮膚腐食性／刺激性、区分 2  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性、区分 2A

### ラベル要素

有害性に関する絵表示 (GHS-JP)



注意喚起語 (GHS-JP) 警告  
危険有害性情報 (GHS-JP) 皮膚刺激 (H315)。  
強い眼刺激 (H319)。

注意書き [予防策]

対応の注意書き

取扱い後は手、前腕部、その他の露出部をよく洗うこと (P264)。  
保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用すること (P280)。  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。 (P302+P352)。  
眼に入った場合: 水で数分間、注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 (P305+P351+P338)。  
特別な処置が必要 (この SDS のセクション 4 を参照) (P321)  
皮膚に付着し、皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 (P332+P313)。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。 (P337+P313)。

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
(P362+P364)。

### その他の危険有害性

分類に関係しない他の危険有害性

既存の眼疾患、皮膚疾患、または呼吸器系疾患がある場合は、暴露によりこれらの疾患が悪化するおそれがある。

## セクション 3: 組成／成分情報

名称	濃度	化学式	公報リストの参照番号		CAS 番号
			CSCS 番号	ISHL 番号	
メチル水素ジメチルシロキサン およびジメチルシリコーン	< 15%	特記なし	(7)-477	(7)-477	68037-59-2
ドデカメチルシクロヘキサシロ キサン	< 1%	C12H36O6Si6	(7)-475	(7)-475	540-97-6

## セクション 4: 応急措置

### 応急措置の説明

一般的な応急措置

意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。

吸入した場合の応急措置

症状が発生した場合:屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合の応急措置

汚染された衣類を脱ぐ。汚染された領域を直ちに水で 15 分以上洗い流す。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合の応急措置

直ちに水で 15 分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合の応急措置

口をすすぐ。無理に吐かせない。医師による診察を受ける。

応急処置をする者の保護と対策

適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

### 急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

症状／影響

皮膚刺激。強い眼刺激。

吸入した場合の症状／影響

長時間暴露により、炎症を引き起こす恐れがある。

皮膚への接触後の症状／影響

赤み、痛み、はれ、かゆみ、炎症、乾燥、皮膚炎。

眼に入った後の症状／影響

接触により、結膜の赤み、膨張を伴う重度の炎症を引き起こすおそれがある。

飲み込んだ場合の症状／影響

飲み込むと有害な影響を及ぼすおそれがある。

慢性症状

知見なし。

### 即時の医療措置および特別な治療の適応となる症状

暴露した場合や暴露が懸念される場合には、医師の診断、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合、製品の容器やラベルを持参すること。

## セクション 5: 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤

周囲の火災に適した消火剤を使用すること。



# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

### 不適切な消火剤

強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。熱い生成物に放水すると、フロス(泡)が発生し、火力が強まる場合がある。

### 物質または混合物に由来する特別な危険有害性

#### 火災危険性

可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。

#### 爆発危険性

本製品は爆発性はない。

#### 反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

### 消火時の注意事項

#### 火災に関する予防措置

化学物質による火災の消火は慎重に行う。

#### 消火時の指示

露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。

#### 消火時の防護

呼吸用保護具を含む適切な防護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。

#### 有害燃焼生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。ケイ素酸化物。ホルムアルデヒド。

## セクション 6: 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

#### 一般的な措置

吸引を避けること(蒸気、ミスト、スプレー)。眼、皮膚、衣類への接触は避けること。

#### 二次災害の防止策

当該領域の換気を行う。

#### 緊急救援隊以外の人員

##### 防護具

適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

##### 緊急措置

不必要な人員を退避させる。

#### 緊急対応にあたる人員

##### 防護具

浄化担当スタッフには適切な防護具を装着させる。

##### 緊急措置

現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分とその周囲の保護、安全を図り、状況が許し次第、訓練された人の支援を求める。当該領域の換気を行う。

### 環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。

### 封じ込めおよび浄化の方法・機材

#### 封じ込め

漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や河川への流入を防止する。

#### 浄化方法

漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

### 他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」およびセクション 13「廃棄上の注意」を参照のこと。

## セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

### 安全な取扱いに関する注意事項

#### 加工時の追加的有害危険性

高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

### 安全な取扱いに関する注意事項

飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗浄する。蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないようにすること。皮膚、眼、衣類との接触は避ける。

### 衛生対策

労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。

### 安全な保管の条件(混触危険性を含む)

#### 技術的対策

適用される規則を遵守すること。

#### 保管条件

使用していない場合は、容器を閉めておく。乾燥した涼しい場所に保管すること。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。

### 混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

### 特定の最終用途

業務用のみ。

## セクション 8: 暴露防止および保護措置

制御パラメータ データなし

生物学的限界 データなし

### 暴露防止

適切な工学的管理

暴露の危険性のある区域のすぐ近くに、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国/地域の規則を確実に遵守する。

個人用保護具

手袋。保護衣。防護ゴーグル。



保護衣の素材

耐化学物質性の素材および繊維。

手の保護

保護手袋を着用すること。

眼および顔面の保護

化学薬品対応の安全ゴーグル。

皮膚および身体の保護

適切な保護衣を着用する。

呼吸器系の保護

暴露限界値を超え、かゆみなどが感じられる場合は、認証済み呼吸保護具を着用する。換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。

熱危険性の防護

データなし

その他の情報

本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

## セクション 9: 物理的および化学的特性

### 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態

液体

外観

無色

臭い

データなし

臭いの閾値

データなし

pH

データなし

蒸発速度

データなし

融点

データなし

凝固点

データなし

沸点

データなし

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

引火点	135°C (275°F) 超
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
燃焼性(固体、気体)	該当なし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度(20°C)	データなし
相対密度	1 超(水= 1)
溶解度	データなし
分配係数:N-オクタノール/水	データなし
粘性	データなし
爆発限界	データなし

### その他の情報

揮発性有機化合物含量	1%未満
------------	------

## セクション 10: 安定性および反応性

### 反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

### 化学的安定性

推奨される取り扱い状態および保存状態下にある場合は安定(セクション 7 を参照)。

### 有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

### 避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質。

### 混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

### 危険有害な分解生成物

混触危険物質との接触または熱分解により、爆発性のある水素ガスを生成する可能性がある。温度が 150°C (300°F) を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。ホルムアルデヒドは発がん性を持つ物質であり、皮膚および呼吸器系に対して感作物質として作用する可能性がある。ホルムアルデヒドはまた、呼吸器および眼への刺激を引き起こす可能性がある。

## セクション 11: 有害性情報

### 毒性影響に関する情報

急性毒性(経口)	未分類。
急性毒性(経皮)	未分類。
急性毒性(吸入)	未分類。

メチルビニルシクロシロキサン (2554-06-5)	
LD50 経口 ラット	4800 mg/kg 超 (Read-across 法、死亡なし)
LD50 皮膚 ウサギ	2000 mg/kg 超 (死亡なし)
LC50 吸入 ラット	1.32 mg/l/4h 超 (種類: Sprague-Dawley 系、最大達成濃度、死亡なし)
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン (540-97-6)	
LD50 経口 ラット	50 g/kg 超
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激を引き起こす
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	強い眼刺激

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

呼吸器系または皮膚感作性	未分類。
生殖細胞変異原性	未分類。
発癌性	未分類。
生殖毒性	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT)－単回ばく露	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT)－反復ばく露	未分類。
吸引性呼吸器有害性	未分類。

## セクション 12: 環境影響情報

### 毒性

生態系 - 一般 未分類。

### 残留性および分解性

R31-2186 Part B

残留性および分解性	立証されていない。
-----------	-----------

### 生物蓄積性の可能性

R31-2186 Part B

生物蓄積性の可能性	立証されていない。
-----------	-----------

土壤中の移動性 データなし

### その他の有害な影響

オゾン層に有害 未分類。  
その他の情報 環境への放出を避けること。

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

廃棄物処理方法 廃棄物は、地域／地区／国内／国際規制に従って廃棄する。  
その他の情報 空にした容器が有害である可能性あり。すべての使用上の注意に従うこと。

## セクション 14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDS の認可時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDS が発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

**UNRTDG 準拠** 輸送に関する規制なし

**IATA 準拠** 輸送に関する規制なし

**IMDG/IMO 準拠** 輸送に関する規制なし

その他の情報 入手できるデータはない

## セクション 15: 適用法令

### 適用法令

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

この混合物中のすべての成分は、日本の ENCS (既存および新規化学物質) の目録に記載されており、ISHL (労働安全衛生法) は適用から除外されているか、関連規則による CBI 要件または開示規則に従い開示されていない。

メチル水素ジメチルシロキサンおよびジメチルシリコーン(68037-59-2)	
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項(1)
規制参考情報 AICS(豪州既存化学物質インベントリー)に収載 カナダ DSL(国内物質リスト)に収載 IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質名録)に収載 日本の ENCS(既存および新規化学物質)インベントリーに収載 日本の ISHL(労働安全衛生法)に収載 韓国の ECL(既存の化学物質リスト)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)に収載 米国 TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載 INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載 TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載	
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン(540-97-6)	
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	監視化学物質(同法第 2 条第 4 項)
規制参考情報 AICS(豪州既存化学物質インベントリー)に収載 カナダ DSL(国内物質リスト)に収載 IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質名録)に収載 EEC インベントリー-EINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載 日本の ENCS(既存および新規化学物質)インベントリーに収載 日本の ISHL(労働安全衛生法)に収載 韓国の ECL(既存の化学物質リスト)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)に収載 米国 TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載 TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載	

## セクション 16: その他の情報

作成日または最新改訂日  
参考文献

2020 年 3 月 24 日  
本書は日本の危険有害性情報の伝達方法の基準である安全データシート(SDS)の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じて作成された。

日本 GHS SDS

本安全データシート(SDS)の情報は、本 SDS 記載の日付時点での正確なデータに基づいて作成されたものである。法の許容する最大限の範囲で、NUSIL TECHNOLOGY LLC およびその関連会社(“NUSIL”)は、本書記載の正確さ、完全性、目的または使用の適宜性、商品性、不侵害、性能、安全性、適合性、および安定性を含む情報に関する表現および保証に関して責任は、全面的に制限なく負わないものとする。本 SDS は、適切に訓練されたスタッフによる関連製品の適正使用、取扱い、保管、および処分に関するガイドとなることを目的としているが、すべてを網羅したものではない。NuSil 製品のユーザーは、ユーザー自身の目的と使用内容に応じて、各製品および製品

# R31-2186 Part B

## 安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

---

の組み合わせの安全性、適合性、適正使用、取扱い、保管、および処分を決定するにあたり、ユーザー独自の試験を実施し、ユーザー自身で判断を下すことを推奨する。法の許容する最大限の範囲でNUSILは、いかなる条件においても、利益の損失、風評被害、製品の回収または業務の中断を含む特殊、間接、偶発的、懲罰的または派生的被害の種類を問わず、それらの責任を負わないものとし、NUSILの製品を購入したユーザーは、そのことに同意するものとする。